

京丹後市教育振興計画 施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

担当課	担当課長
学校教育課	上羽 正行
生涯学習課	松本 優

重点目標	7	たくましく健やかな体づくりと生涯スポーツを推進します
基本の方針	子どもたちのスポーツに親しむ習慣の確立や体力づくりに取り組み、たくましく健やかな身体を育みます。また、子どもから高齢者まで、だれもが豊かで充実した生活を送ることができるよう、市民が生涯にわたってスポーツに取り組むことのできる環境づくりを進めます。 食育は、生きるうえでの基本であり、知育、徳育及び体育の基礎となるものであることから、子どもたちが、自然の恩恵や「食」に関わる人々への感謝、理解を深めるとともに「食」に関する適切な判断力を身に付けることを目指します。	

1. 施策の方向性

PLAN

1. 健康な体づくり	① 子どもの基本的な生活習慣の確立のため、学校園が連携し、発達段階に応じた系統的な指導を行うとともに、その大切さについて家庭への啓発に努めます。 ② 喫煙・薬物乱用などの防止、各種感染症や生活習慣病の予防等に関する指導、性に関する指導について、子どもの発達段階に応じた系統的な指導を行います。 ③ 児童生徒の体力・運動能力の実態や課題を的確に把握・分析し、小中学校の教育活動全体を通じて一貫した体育指導を進めます。 ④ 学校園、家庭及び地域が連携して子どもの運動・スポーツ環境の充実を図るため、学校体育施設の開放や学校支援ボランティア等を活用し、子どもの体力・運動能力の向上につながる取組みを進めます。
2. 食育の推進	① 幼児、児童生徒が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるよう、給食を生きた教材として活用するとともに、横断的な食育指導の充実を図ります。 ② 地域の伝統的な食文化への理解を深め、郷土に関心を寄せる心を育むため、給食の献立に地元食材や郷土食を積極的に取り入れます。 ③ 体験学習や調理実習等の活動を通じて、「食」への感謝の気持ちを育むため、家庭や地域、地元生産者等と連携した食育の取組みを一層推進します。
3. 地域スポーツ活動の推進	① スポーツ推進委員をはじめ公民館、PTA等と連携し、各種ニュースポーツ教室等の実施や各種スポーツ行事への協力等、スポーツの普及を図ります。 ② 市民の多様なスポーツニーズに対応した活動を充実するため、体育協会等の活動及び組織強化を支援します。 ③ 市民の健康づくりとして、年齢や体力、目的に応じた日常的なスポーツ活動を促進するため、市民総参加型スポーツイベント「京丹後チャレンジデー」を開催するなど、効果的なスポーツ情報と機会の提供を進めます。 ④ 障害のある人や配慮が必要な様々な人が、障害の種類や程度に応じて、身近な地域で皆と一緒に楽しくするニュースポーツの普及推進に努めます。
4. 競技力の向上	① 学校体育団体と連携し、子どもたちの競技スポーツへの関心を高めるとともに競技力の向上を図るため、小中学校の一貫した指導を進めます。 ② 体育協会と連携し、京丹後市総合体育大会の参加者の拡大及び競技力の向上に向けて大会の実施方法等について検討を進めます。 ③ 市民の競技スポーツへの関心を高めるため、トップアスリートによる指導機会の拡充に努めるとともに、ホストタウン相手国のオリンピックを含む体表選手など、トップアスリートの競技を観戦する機会の提供に努めます。 ④ 青少年のスポーツ活動における指導者を育成するため、研修機会の充実を図るとともに、ジュニアアスリートの育成・支援の方法について検討します。
5. 社会体育施設等の整備充実	① 社会体育施設機能の維持・改善のため、老朽化が著しい社会体育施設の改修・修繕等を進めます。 ② 社会体育施設の利用実態を把握して利用率の向上を図るとともに、利用率の向上が見込めない施設や老朽化した施設は廃止するなど、全体のバランスを考慮した施設の配置を進めます。 ③ あらゆるスポーツの基礎となる陸上の競技力向上及びスポーツ交流人口の拡大を図るため、峰山途中ヶ丘公園陸上競技場の第3種公認陸上競技場としての整備を推進します。
6. スポーツ観光のまちづくり	① 自然豊かな地域とスポーツ資源を活用したスポーツイベントの開催、ジオパークの魅力を活用したアクティビティの場や機会を提供することで、より多くの方々が気軽にスポーツができる環境づくりにつなげ、多面的なスポーツ施策の展開を図ります。 ② スポーツを支えるスポーツボランティアの確保に向けた取組みを推進します。 ③ 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、外国人アスリートなど、国際社会との交流を進める「ホストタウン」の取組みと、「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の開催を通じ、文化交流や地域の活性化を図ります。

【参考】施策に関連するその他の計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
第2次京丹後市総合計画	市の目指す基本理念、目標、将来像などを示した「基本構想」と、その構想を実現するための各種施策を総合的、計画的に体系化した「基本計画」	平成27年3月	平成27年度～令和6年度	
京丹後市スポーツ推進計画	年齢や性別、障害等を問わず、広く市民がその適正なライフステージに応じてスポーツに参画できるよう、中長期的な展望に立った「京丹後市スポーツ推進計画」を策定するもの	平成26年3月	平成26年度～平成29年度	第2次京丹後市スポーツ推進計画(平成30年度～令和9年度)

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
京丹後市学校教育改革構想	中学校卒業時に期待される学力を全ての生徒が確実に身に付けることができるようにしていくため、保育所・幼稚園、小学校、中学校の10年間を見据え、より系統的で一貫性のある教育を実践するための構想を策定	平成24年11月	計画期間の定めなし	

2. 主な取組と構成事務事業一覧		PLAN	DO	※各事業の成果・課題については、別紙決算附属資料参照	CHECK	ACT
1. 健康な体づくり		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R4決算額	R5決算額	R6予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓ 事務事業名称・事業内容(実績) 担当課						
① 子どもの基本的な生活習慣の確立のため、学校園が連携し、発達段階に応じた系統的な指導を行うとともに、その大切さについて家庭への啓発に努めます。						
② 喫煙・薬物乱用などの防止、各種感染症や生活習慣病の予防等に関する指導、性に関する指導について、子どもの発達段階に応じた系統的な指導を行います。						
③ 児童生徒の体力・運動能力の実態や課題を的確に把握・分析し、小中学校の教育活動全体を通じて一貫した体育指導を進めます。						
④ 学校園、家庭及び地域が連携して子どもの運動・スポーツ環境の充実を図るため、学校体育施設の開放や学校支援ボランティア等を活用し、子どもの体力・運動能力の向上につながる取組を進めます。						
1. 健康な体づくり		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R4決算額	R5決算額	R6予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓ 事務事業名称・事業内容(実績) 担当課						
1 保幼小中一貫教育推進事業《再掲》 「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、保幼小中一貫教育の推進に向け、協議会及び専門部会で調査研究を行う。また、子どもたちの学びを支える教員の授業力と学級経営力を高めるための研修を実施し、指導の一貫性を通じて子どもたちの確かな学力、豊かな心を育成する。		-	-	-	統合(整理)	
2. 食育の推進		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R4決算額	R5決算額	R6予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓ 事務事業名称・事業内容(実績) 担当課						
① 幼児、児童生徒が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるよう、給食を生きた教材として活用するとともに、横断的な食育指導の充実を図ります。						
② 地域の伝統的な食文化への理解を深め、郷土に関心を寄せる心を育むため、給食の献立に地元食材や郷土食を積極的に取り入れます。						
③ 体験学習や調理実習等の活動を通じて、「食」への感謝の気持ちを育むため、家庭や地域、地元生産者等と連携した食育の取組を一層推進します。						
3. 地域スポーツ活動の推進		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R4決算額	R5決算額	R6予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓ 事務事業名称・事業内容(実績) 担当課						
① スポーツ推進委員をはじめ公民館、PTA等と連携し、各種ニュースポーツ教室等の実施や各種スポーツ行事への協力等、スポーツの普及を図ります。						
② 市民の多様なスポーツニーズに対応した活動を充実するため、体育協会等の活動及び組織強化を支援します。						
③ 市民の健康づくりとして、年齢や体力、目的に応じた日常的なスポーツ活動を促進するため、市民総参加型スポーツイベント「京丹後チャレンジデー」を開催するなど、効果的なスポーツ情報と機会の提供を進めます。						
④ 障害のある人や配慮が必要な様々な人が、障害の種類や程度に応じて、身近な地域で皆と一緒に楽しめるニュースポーツの普及推進に努めます。						
2 スポーツ推進委員活動事業 生涯学習課		3,133	3,316	3,641	現状維持	
市民にスポーツに関する指導及び助言を行うスポーツ推進委員を委嘱し、本市のスポーツ振興を図る。また、スポーツ推進委員の資質向上のため、各種研修会や研究大会に参加する。						
3 保健体育総務一般経費 生涯学習課		3,268	3,108	3,983	現状維持	
スポーツ基本法に基づいて設置するスポーツ推進審議会を運営し、市民の意見を反映したスポーツ活動の推進を図る。また、社会体育事業を円滑に実施するための事務経費のほか、全国大会等出場者激励会の開催や懸垂幕を設置するなど、優れた成績を収めた選手を讃え、スポーツ推進の機運を高める。						
4 地域スポーツ推進事業 生涯学習課		6,629	6,863	6,281	現状維持	
市民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を送ることができるよう、体力の向上や健康づくり等、年代や目的に応じて気軽に親しめるスポーツ機会を提供するほか、市総合スポーツ大会の開催、京都府民総合体育大会への出場を支援する等、スポーツ人口の拡大とスポーツを通じた交流機会を確保する。						
4. 競技力の向上		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R4決算額	R5決算額	R6予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓ 事務事業名称・事業内容(実績) 担当課						
① 学校体育団体と連携し、子どもたちの競技スポーツへの関心を高めるとともに競技力の向上を図るため、小中学校の一貫した指導を進めます。						
② 体育協会と連携し、京丹後市総合体育大会の参加者の拡大及び競技力の向上に向けて大会の実施方法等について検討を進めます。						
③ 市民の競技スポーツへの関心を高めるため、トップアスリートによる指導機会の拡充に努めるとともに、ホストタウン相手国のオリンピックを含む体表選手など、トップアスリートの競技を観戦する機会の提供に努めます。						
④ 青少年のスポーツ活動における指導者を育成するため、研修機会の充実を図るとともに、ジュニアアスリートの育成・支援の方法について検討します。						
5 社会体育団体育成事業 生涯学習課		19,297	19,073	19,290	現状維持	
市民へのスポーツの普及と振興を図るため、中核的な役割を担う(一社)京丹後市スポーツ協会の活動を支援する。また、京丹後市青少年スポーツ協会の活動を支援することで、青少年の健全育成と体力の向上を図る。						

5. 社会体育施設等の整備充実			決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み			R4決算額	R5決算額	R6予算額	評価を踏まえた 今後の方向性
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
① 社会体育施設機能の維持・改善のため、老朽化が著しい社会体育施設の改修・修繕等を進めます。						
② 社会体育施設の利用実態を把握して利用率の向上を図るとともに、利用率の向上が見込めない施設や老朽化した施設は廃止するなど、全体のバランスを考慮した施設の配置を進めます。						
③ あらゆるスポーツの基礎となる陸上の競技力向上及びスポーツ交流人口の拡大を図るため、峰山途中ヶ丘公園陸上競技場の第3種公認陸上競技場としての整備を推進します。						
6 体育施設管理運営事業		生涯学習課	182,249	54,837	44,367	現状維持
市民が生涯にわたって、心身ともに健康で文化的な生活を送ることができるよう、スポーツ活動やレクリエーション活動の拠点となる社会体育施設の維持管理等を行う。						
7 社会体育用学校開放施設管理運営事業		生涯学習課	2,725	1,533	1,471	現状維持
地域の身近な施設である学校体育施設を開放及び維持管理することにより、市民のレクリエーション活動や各種サークル活動、また、青少年スポーツ教室や各種スポーツ競技団体の活動等の促進を図る。						
8 久美浜湾カヌーセンター管理運営事業		生涯学習課	5,116	3,610	2,233	現状維持
豊かな自然の中で、カヌーを通して市民のスポーツ及びレクリエーションの振興を図り、心身の健康づくりに資するとともに、本市のスポーツ活動の拠点の一つとして地域の活性化に資するため、カヌーセンターの管理運営を行う。						
9 都市公園等維持整備事業		生涯学習課	48,498	74,502	52,420	現状維持
都市公園を適正に維持管理し、市民が快適で安全・安心に利用できるようにする。						
6. スポーツ観光のまちづくり			決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み			R4決算額	R5決算額	R6予算額	評価を踏まえた 今後の方向性
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
① 自然豊かな地域とスポーツ資源を活用したスポーツイベントの開催、ジオパークの魅力を活用したアクティビティの場や機会を提供することで、より多くの方が気軽にスポーツができる環境づくりにつなげ、多面的なスポーツ施策の展開を図ります。						
② スポーツを支えるスポーツボランティアの確保に向けた取組みを推進します。						
③ 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、外国人アスリートなど、国際社会との交流を進める「ホストタウン」の取組みと、「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の開催を通じ、文化交流や地域の活性化を図ります。						
10 スポーツイベント推進事業		生涯学習課	5,784	8,596	5,148	現状維持
観光分野と連携し、各種スポーツイベントの開催を支援することで、スポーツを通じた本市の魅力を発信し、交流人口の増加を図る。						
11 ワールドマスターズゲームズ関西推進事業		生涯学習課	1,749	2,213	2,864	現状維持
ワールドマスターズゲームズ関西(WMG)関連事業開催を推進し、本市のスポーツツーリズムやインバウンドの増加、障害者スポーツの基盤づくり、スポーツによる地域の活性化を図る。						
			計	278,448	177,651	141,698

3. 教育振興計画で掲げている主な目標指標

基本的方針	子どもたちのスポーツに親しむ習慣の確立や体力づくりに取り組み、たくましく健やかな身体を育みます。また、子どもから高齢者まで、だれもが豊かで充実した生活を送ることができるよう、市民が生涯にわたってスポーツに取り組むことのできる環境づくりを進めます。 食育は、生きるうえでの基本であり、知育、徳育及び体育の基礎となるものであることから、子どもたちが、自然の恩恵や「食」に関わる人々への感謝、理解を深めるとともに「食」に関する適切な判断力を身に付けることを目指します。							
主な目標指標	目標指標	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
				年度		年度		年度
	朝食を毎日食べる児童の割合＜小学校＞	%	97.8 「全国学力・学習状況調査」児童質問紙	H25	94.8	R5	100	R6
	朝食を毎日食べる生徒の割合＜中学校＞	%	91.1 「全国学力・学習状況調査」生徒質問紙	H25	92.6	R5	95%以上	R6
	平日、午前7時より前に起きる児童の割合＜小学校＞	%	88.4 「全国学力・学習状況調査」児童質問紙	H25	全国学力・学習状況調査及び京都府学力テストの児童生徒質問項目から外れたためデータなし	R5	100	R6
平日、午前7時より前に起きる生徒の割合＜中学校＞	%	77.2 「全国学力・学習状況調査」生徒質問紙	H25	全国学力・学習状況調査及び京都府学力テストの児童生徒質問項目から外れたためデータなし	R5	95%以上	R6	

	目標指標	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
				年度		年度		年度
主な目標指標	平日、午後11時より前に寝る児童生徒の割合＜小学校＞	%	91.6 「全国学力・学習状況調査」児童質問紙	H25	全国学力・学習状況調査及び京都府学力テストの児童生徒質問項目から外れたためデータなし	R5	100	R6
	平日、午後11時より前に寝る児童生徒の割合＜中学校＞	%	45.0 「全国学力・学習状況調査」生徒質問紙	H25	全国学力・学習状況調査及び京都府学力テストの児童生徒質問項目から外れたためデータなし	R5	90%以上	R6
	小学生(5年生)の体力テスト全国平均以上	種目	8種目中7種目	H25	8種目中5種目	R5	全種目	R6
	中学生(2年生)の体力テスト全国平均以上	種目	8種目中4種目	H25	8種目中4種目	R5	全種目	R6
	成人の週1回以上のスポーツ実施率	%	21.6 市民アンケート調査結果	H24	33.3	R5	65.0 (国の目標)	R6
	京都府民総合体育大会入賞競技数	競技	6 京都府民総合体育大会結果	H25	7	R5	10	R6
	公共スポーツ施設の利用回数	回	11,253 公共施設利用状況調査結果	H24	13,862	R5	14,000	R6
	スポーツイベント参加者数	人	-	R1	12,078	R5	18,600	R6

4. 施策の進捗状況の評価と今後の課題[基本的方針の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

CHECK

ACT

進捗状況区分	評価	令和5年度成果と今後の課題
◎ 予定以上に進んでいる	○	《朝食を毎日食べる児童生徒の割合》 朝食を毎日食べる児童生徒の割合は、小中学生ともに減少したが、高い水準で推移している。各校園における家庭向けの啓発及び児童生徒への丁寧な指導により確実に定着してきているが、朝食を食べていない児童生徒がいることにも注視し、今後も保護者との連携を更に密にすることで、児童生徒全員が朝食を毎日食べる取組を進めていく必要がある。 《平日、午前7時より前に起きる児童生徒の割合》 全国学力・学習状況調査及び京都府学力テストの児童生徒質問項目から外れたためデータなし。 《平日、午後11時より前に寝る児童生徒の割合》 全国学力・学習状況調査及び京都府学力テストの児童生徒質問項目から外れたためデータなし。 《小学生(5年生)の体力テスト全国平均以上》 握力、上体起こし、長座体前屈が全国平均を下回った。男子の握力の数値は全国を上回っている。引き続き、体育科を含む各校の教育活動全体を通した体力づくりの取組等により、意識的に課題のある筋力・柔軟性などの運動能力について克服していく必要がある。 《中学生(2年生)の体力テスト全国平均以上》 令和5年度については、握力、上体起こし、長座体前屈、ハンドボール投げなどの筋力、柔軟性、投力を図る項目が全国平均を下回った。その他の項目に関しては全国平均を上回っている。引き続き、課題を踏まえ、体育科を含む各校の教育活動全体を通した体力づくりの取組等により、意識的に課題のある運動能力について克服していく必要がある。 《成人の週1回以上のスポーツ実施率》 徐々に地域での社会体育の取組を進めつつあるが、コロナ渦以前の実施状況には戻っていない。健康増進と体力の向上を図るためスポーツ推進委員会が中心となって開催する地域でのニュースポーツ教室やノルディックウォーキング教室等を開催し、参加者を増やす工夫が必要である。 《京都府民総合体育大会入賞競技数》 令和5年度から、法人化した市スポーツ協会が本格的に運営を開始した。新型コロナウイルス感染症も落ち着き、7競技が入賞を果たした。今後も競技力の向上を目指し、入賞競技数の増を目指す。また、将来性を有するジュニアアスリートを養成する支援体制を整えることが重要である。
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
× 大幅に遅れている		

		令和5年度成果と今後の課題
		《公共スポーツ施設の利用回数》 令和4年度の無料開放時は、多くの利用があったが、無料開放が終了した今年度については、利用回数が少し減少したが、コロナ渦以前の水準に比べると増加している。 今後は、公共施設の見直し計画による施設の集約化や指定管理者制度の導入等、より市民のニーズに則した施設環境づくりとスポーツ機会の提供が求められる。 《スポーツイベント参加者数》 令和5年度については、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで、予定していたスポーツイベントは、すべて開催することができ、スポーツ観光のまちづくりを推進するためのスポーツができる環境を提供することができた。今後も引き続き、各種イベントについて、地域資源を取り入れながら、参加者増と地域活性を図る必要がある。

5. 今後の施策展開の考え方(令和6年度での主な取組)

ACT

区分	No.	具 体 的 内 容
施策展開の考え方	1	子どもたちの基本的な生活習慣を確立させるため、学校園が連携し、発達段階に応じた指導を継続するとともに、丹後学を通じた学習や、地産地消・給食指導など、家庭、地域と連携した食育の取組を更に推進する。
	2	市民のニーズに合ったスポーツの推進や、各地区の事業やPTA活動への協力を行うなど、関係団体等と連携しながら、多くの人がスポーツに親しめる機会を設ける。
	3	京丹後市スポーツ協会の更なる組織強化や事業充実等に向けた支援を継続し、各種スポーツ大会の実施や府民総合体育大会への出場選手の拡大を図り、競技力の向上を目指す。
	4	市内には多くの社会体育施設が点在しているが、地域の大切なコミュニティの場としての役割も大きいため、計画的な施設の修繕を実施する一方、利用が少ない施設の維持管理などについて見直しを行う。
	5	交流人口の増加等、地域活性化を図るため、事業効果の高いスポーツイベントを推進するとともに、WMG関西に向けた準備や取組を推進する。

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	3,316千円		3,566千円	250千円	92.9 %		
	目	02 スポーツ推進費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事業	01 スポーツ推進委員活動事業					3,566千円		
基本計画			27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源				
目的	市民にスポーツに関する指導及び助言を行うスポーツ推進委員を委嘱し、本市のスポーツ振興を図る。 また、スポーツ推進委員の資質向上のため、各種研修会や研究大会に参加する。								
主要な事務・事業の概要	○スポーツ推進委員報酬（50千円×49人）		2,450千円		＜活動内容＞ ・ノルディック・ウォーキング体験会 年間13回、延べ243人参加 ・ニュースポーツ体験会（ビーチボールバレー、モルックほか） 年間85回、延べ893人参加 ・地区活動やPTA行事、高齢者大学などにおけるスポーツ指導（ノルディック・ウォーキング、モルック、体力テストほか） ・スポーツ大会への協力（ウルトラマラソン、丹後大学駅伝ほか）				
	○旅費（スポーツ推進委員活動費用弁償、職員旅費）		568千円						
	○需用費（消耗品費等） ・機関誌購読料、広報用カラーペーパー		28千円						
	○役務費（スポーツ安全保険料）		89千円						
	○委託料（バス運転委託料） ・京都府スポーツ推進委員研究大会（宮津市） ・近畿スポーツ推進委員研究協議会（大阪府堺市）		96千円						
	○使用料及び賃借料（有料道路通行料、駐車場使用料）		15千円		成果・課題	○ノルディック・ウォーキング体験会、ビーチボールバレー、モルックなどのニュースポーツの普及に努め、幅広い年代の方へスポーツへの参加機会を提供することができた。 ○今後も、スポーツへの参加機会の提供だけでなく、地域において、スポーツ指導をする場を設けられるよう、地区公民館等への働きかけ、連携を強化する必要がある。			
	○負担金、補助及び交付金 ・丹後スポーツ推進委員連絡協議会負担金 ・近畿スポーツ推進委員研究協議会参加負担金		70千円 44千円 26千円						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	3,108千円		3,286千円	178千円	94.5 %		
	目	01 保健体育総務費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事業	50 保健体育総務一般経費					3,148千円		
基本計画			27 多様な学びを支援する社会教育の充実						
目的	スポーツ基本法に基づいて設置するスポーツ推進審議会を運営し、市民の意見を反映したスポーツ活動の推進を図る。 また、社会体育事業を円滑に実施するための事務経費のほか、全国大会等出場者激励会の開催や懸垂幕を設置するなど、優れた成績を収めた選手を讃え、スポーツ推進の機運を高める。		主な財源						
主要な事務・事業の概要	○スポーツ推進審議会に関する経費 ・審議会委員報酬：12人、開催回数：4回 ・費用弁償 ＜スポーツ推進審議会の主な内容＞ 第1回（5月25日） ・第2次京丹後市スポーツ推進計画の進捗状況について ・第2次京丹後市スポーツ推進計画の見直しについて 第2回（7月25日） ・第2次京丹後市スポーツ推進計画の見直しについて ・目標数値、施策体系について 第3回（10月30日） ・第2次京丹後市スポーツ推進計画の見直しについて ・計画の目標、見直しについて 第4回（11月20日） ・第2次京丹後市スポーツ推進計画の見直しについて 【第2次京丹後市スポーツ推進計画】※令和5年度中間見直しを実施 計画期間：平成30年度～令和9年度（10年間）		178千円	○会計年度任用職員任用経費 （スポーツ推進室：事務補助員1人） ○社会体育に関する事務経費 ・全国大会等出場懸垂幕作成経費等					2,820千円 110千円 110千円
			152千円 26千円						
				成果・課題	○「第2次京丹後市スポーツ推進計画」の現状と課題を把握し、計画の中間見直しを行った。 ○今後は、計画に掲げた基本目標及び目標値の実現に向けて、施策を推進する必要がある。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	05 保健体育費	6,863千円		7,119千円	256千円	96.4 %			
	目	02 スポーツ推進費					(参考)当初予算額			
	事業	02 地域スポーツ推進事業					7,919千円	課	生涯学習課	
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実	主な財源	デジ 外田園都市国家構想交付金（1/2）598千円						
目的	市民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を送ることができるよう、体力の向上や健康づくり等、年代や目的に応じて気軽に親しめるスポーツ機会を提供するほか、市総合スポーツ大会の開催、京都府民総合体育大会への出場を支援する等、スポーツ人口の拡大とスポーツを通じた交流機会を確保する。			府補	きょうと地域連携交付金（スポーツ推進事業）2,500千円					
			繰入金	韓哲・まちづくり夢基金繰入金 238千円						
			諸収入	スポーツ大会参加料 18千円						
主要な事務・事業の概要	○報償費（はしうど杯卓球選手権大会審判員謝金等）		23千円		＜大会等実施状況＞					
	○旅費		5千円		大会名					
	○需用費（消耗品費、燃料費、食糧費）		143千円		開催日					
	○委託料		1,258千円		参加者等					
	・市長杯争奪中学校野球大会開催委託料		100千円		京丹後市総合スポーツ大会 5/1～2/29 12競技、1,185人					
	・ジュニアカヌースプリント大会運営委託料		840千円		市長杯争奪中学校野球大会 5/27(土)、28(日) 市内5校					
	・京丹後市民陸上記録会運営委託料		300千円		ジュニアカヌースプリント春季・秋季大会 5/20(土)・10/21(土) 春季：37人・秋季：中止					
	・弥栄町文化祭駅伝大会バス運行委託料		18千円		京丹後チャレンジデー2023 5/31(水) 参加率56.5%、29,381人					
	○有料道路通行料		6千円		北近畿中学生ソフトテニス大会 6/4(日) 6市1町15校 75ペア					
	○負担金、補助金及び交付金		4,093千円		京丹後市民陸上記録会 7/9(日) 130人					
	・京都府民総合体育大会派遣費補助金		2,500千円		京都府民総合体育大会 8月～2月 14競技参加、入賞7競技					
	・京丹後市総合スポーツ大会開催補助金		1,500千円		弥栄町文化祭駅伝大会 11/3(祝) 6チーム、48人					
	・京丹後チャレンジデー実行委員会補助金		93千円		はしうど杯卓球選手権大会 12/9(土) 2市1町、8校、97人					
	○野村克也メモリアル事業		1,335千円		野村克也講演会 3/23(土) 150人					
	・野村克也講演会に係る講師謝金（福本豊氏、山田雅人氏）		790千円		成果・課題	市民が気軽に参加できるスポーツ事業の実施及びスポーツ大会への支援をすることにより、市民の健康・体力づくりやスポーツを通じた住民間・地域間の交流機会の提供、地域の活性化に寄与した。				
	・野村克也講演会開催経費（消耗品費、食糧費、印刷製本費、会場使用料等）		195千円							
		・野村克也杯学童野球大会実行委員会補助金		350千円						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	05 保健体育費	19,073千円	19,216千円	143千円	99.2 %	課	生涯学習課	
	目	01 保健体育総務費				(参考)当初予算額			
	事業	01 社会体育団体体育成事業				19,644千円			
基本計画			27 多様な学びを支援する社会教育の充実						
目的	市民へのスポーツの普及と振興を図るため、中核的な役割を担う（一社）京丹後市スポーツ協会の活動を支援する。 また、京丹後市青少年スポーツ協会の活動及び子どもスポーツ推進事業を支援することで、青少年の健全育成と体力の向上を図る。		主な財源						
主要な事務・事業の概要	○（一社）京丹後市スポーツ協会活動補助金		15,584千円		＜京丹後市青少年スポーツ協会 種目別加盟団体数＞				
	・加盟団体数：18団体（2,183人） ※令和6年3月末現在								
	・各種事業の実施								
	スキルアップ研修会の開催（令和5年9月29日、2月29日）								
	各競技団体の活動支援（年間）								
	スポーツ講演会の実施（令和6年3月16日）								
	・スポーツ大会への協力（ウルトラマラソン、丹後大学駅伝）								
	・広報紙の発行（年3回）								
	○京丹後市青少年スポーツ協会活動補助金		3,489千円						
	・加盟団体数：63団体（児童生徒数：1,364人、指導者数：323人）								
	・事業内容：指導者研修会の開催、各加盟団体支援、募集チラシの発行								
	成果・課題					○スポーツ団体の組織強化を支援することにより、スポーツ団体が実施する各種教室及び大会などを通して、幅広い年代層へスポーツに親しむ機会を提供することができた。 ○京丹後市青少年スポーツ協会の加盟団体への活動助成金の交付や指導者研修会を開催し青少年のスポーツを通じた健全育成を支援した。 ○令和5年度から法人へ移行した市スポーツ協会について、組織強化及び発展的な活動・運営となるよう引き続き支援する必要がある。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	54,837千円		58,263千円	3,426千円	94.1 %		
	目	03 体育施設費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事業	01 体育施設管理運営事業					56,166千円		
基本計画			27 多様な学びを支援する社会教育の充実	主な財源	使用料	社会体育施設使用料			1,316千円
目的	市民が生涯にわたって、心身ともに健康で文化的な生活を送ることができるよう、スポーツ活動やレクリエーション活動の拠点となる社会体育施設の維持管理等を行う。				使用料	公有財産使用料			116千円
					諸収入	旧橋小火災保険料負担金、旧橋小光熱水費負担金			112千円
					諸収入	学校施設光熱水費利用負担金			544千円
					諸収入	社会体育施設光熱水費利用負担金			6千円
諸収入	大宮社会体育館光熱水費負担金			37千円					
主要な事務・事業の概要	<体育施設の維持管理経費>				<利用状況>				
	○需用費（消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費、修繕料） 27,457千円				紅葉ヶ丘運動場（テニスコート） 145 件				
	○役務費（通信運搬費、し尿取手数料、火災保険料等） 1,597千円				大宮自然運動公園（グラウンド、テニスコート） 504 件				
	○委託料（運動公園管理、社会体育館管理、浄化槽維持管理等） 15,457千円				大宮社会体育館 1,077 件				
	○使用料及び賃借料（土地借上、仮設トイレ借上、AED賃借料） 663千円				網野グラウンド（グラウンド、ゲートボール場） 657 件				
	○備品購入費（大宮自然運動公園自走式草刈機、業務用掃除機） 304千円				網野体育センター（体育室、柔・剣道室、テニスコート） 1,706 件				
	○工事請負費 9,359千円				丹後社会体育館 351 件				
	・五箇体育館電気設備改修工事 256千円				弥栄総合運動公園（体育館、グラウンド、ゲートボール場） 1,544 件				
	・網野体育センターキュービクル改修工事 742千円				久美浜中央運動公園（グラウンド、テニスコート、ゲートボール場） 1,080 件				
	・網野体育センター高圧受電設備改修工事 1,209千円				その他体育施設（30施設） 6,547 件				
	・体育館高圧受電設備改修工事（丹波・豊栄） 1,153千円				合 計（47施設） 13,611 件				
	・弥栄総合運動公園第2キュービクル改修工事 613千円				成果・課題 ○施設の適切な管理運営を行うことで、市民のスポーツ活動の普及・発展に寄与した。 ○施設の効率的・効果的な管理運営を図るため、公共施設等見直し計画に基づき、管理形態の見直し等について検討していく必要がある。				
	・豊栄山村広場防球ネット改修工事 4,208千円								
	・豊栄山村広場グラウンド復旧工事 586千円								
	・久美浜中央運動公園テニスコート人工芝補修工事 592千円								
参考		繰越明許費を除いた最終予算額		56,387千円					
		実質的な予算執行率		97.2%					
■令和6年度への繰越事業				1,876千円					
体育館高圧受電設備改修工事（丹波・豊栄）				令和6年10月完了予定					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局		
	項	05 保健体育費	1,533千円		1,684千円	151千円	91.0 %				
	目	03 体育施設費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課		
	事業	02 社会体育用学校開放施設管理運営事業								1,684千円	
基本計画			27 多様な学びを支援する社会教育の充実	主な財源	使用料	小学校施設使用料		251千円			
					使用料	中学校施設使用料		182千円			
目的			市民が生涯にわたって、心身ともに健康で文化的な生活を送ることができるよう、スポーツ活動やレクリエーション活動の拠点となる社会体育施設の維持管理等を行う。								
主要な事務・事業の概要	<利用状況>				(単位：施設・件)				○需用費 1,533千円		
	小学校	体育館	施設数	4	2	4	2	2	3	17	【所管課：生涯学習課】 ・印刷製本費（利用申請書）等 157千円 ・修繕料（屋外照明架台修繕等） 477千円
			利用件数	764	692	773	287	260	528	3,304	
		グラウンド	施設数	4	2	4	2	2	3	17	【所管課：教育総務課】 ・消耗品費（体育館ランプ） 15千円 ・修繕料（体育館照明取替等） 884千円
			利用件数	399	257	692	125	260	53	1,786	
		格技場	施設数			2				2	
			利用件数			230				230	
	中学校	体育館	施設数	2	1	1	2	1	1	8	成果・課題 ○施設の計画的な維持管理に努め、市民のスポーツ・レクリエーション活動の場を提供することにより、市民が楽しみ共につくるスポーツのまちづくりに寄与した。 ○今後も市民にとって身近で利用しやすい施設として管理運営に努めていく必要がある。
			利用件数	38	217	169	9	354	127	914	
		グラウンド	施設数	1	1	1	1	1	1	6	
			利用件数	7	227	67	64	218	49	632	
		格技場	施設数		1	1	1	1	1	5	
利用件数				114	34	233	299	87	767		
合 計						施設数	55	利用件数	7,633		
小学校（全17校）											
中学校（全6校）											

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	8,596千円		8,712千円	116千円	98.6 %		
	目	02 スポーツ推進費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事業	03 スポーツ・文化・芸術推進事業					5,490千円		
基本計画			主な財源	府補	きょうと地域連携交付金（スポーツ・文化・芸術推進事業）			1,512千円	
目的 観光分野と連携し、各種スポーツイベントの開催を支援することで、スポーツを通じた本市の魅力を発信し、交流人口の増加を図る。				寄附金	ふるさと応援寄附金			3,632千円	
				諸収入	地方公共団体スポーツ活動助成金			1,335千円	
主要な事務・事業の概要			＜スポーツイベントの実施状況＞						
			イベント名		開催日程	会 場	参加者等	関係予算(負担金・補助金) 執行内容	
			パラカヌーサポーター講習会		5/21(日)	久美浜湾	20人	講師謝金（1人分）	84千円
			京丹後市ドラゴンカヌー選手権大会		8/5(日)	久美浜湾	64チーム、768人	実行委員会への補助金	1,700千円
			第21回丹後100kmウルトラマラソン		9/17(日)	京丹後市内	2,439人	実行委員会への補助金	127千円
								バス運転委託料	612千円
			丹後大学駅伝（第85回関西学生対校駅伝競走大会）		11/18(土)	丹後地域	23チーム、253人	後援会への負担金	600千円
								大会特別企画事業補助金	3,632千円
			第57回久美浜湾一周駅伝競走大会		11/23(木・祝)	久美浜湾周辺	304人	大会運営委託料	1,350千円
			パラスポーツ体験会		12/16(土)	大宮	39人	講師謝金（4人分）	128千円
全国高等学校カヌー長距離選手権大会		3/16(土)、3/17(日)	久美浜湾	134人	大会運営委託料	300千円			
合 計				3,957人		8,449千円			
○その他経費 ・旅費 ・消耗品費 ・燃料費（丹後大学駅伝）			63千円 4千円 35千円 24千円	成果・課題	○年間を通じて、各種大会を実施し、参加者のほか、応援者、関係者等含め多くの参加者を得て、地域における経済効果及び市の魅力発信を図ることができた。 ○第85回目を迎えた丹後大学駅伝では、記念大会としてガバメントクラウドファンディングにより、青山学院大学がオープン参加した。また、前年度に引き続き、地上波でのテレビ放送も行い、開催地である丹後地域をPRすることができた。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	2,213千円		2,313千円	100千円	95.6 %		
	目	02 スポーツ推進費					(参考)当初予算額		
	事業	04 ワールドマスターズゲームズ 関西推進事業					2,516千円	課	生涯学習課
基本計画		04 滞在型観光・スポーツ観光の促進	主な財源	府補 ぎょうと地域連携交付金（スポーツ文化推進事業） 688千円					
				諸収入 地方公共団体スポーツ活動助成金（スポーツ振興くじ助成金） 637千円					
目的		ワールドマスターズゲームズ関西（WMG）関連事業開催を推進し、本市のスポーツツーリズムやインバウンドの増加、障害者スポーツの基盤づくり、スポーツによる地域の活性化を図る。							
主要な事務・事業の概要	○有料道路通行料		5千円		○SUPジャパンオープン補助金 790千円				
	OWMG関西京丹後市実行委員会運営補助金		118千円		＜SUP2023ジャパンオープン＞				
	WMG2027関西の開催に向け、大会運営に必要な基盤整備を行うため、実行委員会の開催や、大会の周知・啓発に係る事業を対象				・開催日：令和5年4月15日（土）、16日（日）				
					※15日（土）SUP無料体験会実施				
	○全日本カヌーマラソン選手権大会運営補助金		1,300千円		・参加者数：88人 ※無料体験会 10人				
	＜令和5年度全日本カヌーマラソン選手権大会＞				・会場：久美浜湾カヌー競技場				
	・開催日：令和5年5月12・13・14日（金・土・日）								
	・参加者数：256人								
	・会場：久美浜湾カヌー競技場								
				成果・課題	OWMGブレ大会（SUP、カヌーマラソン）を開催し、本大会に向けての競技運営に必要な運営体制等について確認することができ、今後の大会・合宿誘致に向けてノウハウを得られた。 OWMG大会が2027年5月に開催することが決定した。引き続き、大会の知名度の向上と機運醸成に向けた取組を展開していく必要がある。				